



ひと枝、ひと枝、丹念に剪定/立道喜久二さん

丹精の丘に春が咲くまち。

城陽支店・久津川支店・寺田支店・富野荘支店・青谷支店界隈

まだ冷たい風が吹く初春の丘。凍てつく寒さのなか、それでも梅の木の枝先には、もうつぼみがほころびはじめています。城陽市南部の丘陵地に広がる青谷は、全国に知られた梅実の産地。京都府でいちばんの生産量を誇っています。鎌倉時代には、すでに梅の名所として知られていたといい、現在でもおよそ1万本の梅が栽培されています。

ほんのりと甘い梅の香り。それがこのまちの春の香り。毎年2月半ばから3月中旬に開かれる「青谷梅林 梅まつり」



青谷梅林 梅まつり 2月19日(日)～3月21日(祝)

では梅干などの特産品も売り出され、毎年2万人もの観光客が訪れます。丹精込めて守り育てられてきた梅の木が、今もまちに賑わいと華やぎを与えてくれているの



正道官衙遺跡(しょうどうかんがいせき)

です。守られてきたといえは数多くの歴史遺産もそのひとつ。古くから交通の要衝だったこの辺りには縄文時代の遺跡や古墳をはじめ飛鳥・奈良・平安時代などの史跡が点在していて、学習施設や公園も整備されています。そうそう、史跡を巡るなら山背古道がおすすめ。先人たちが歩いたこの道をたどれば、ほら、ここにも梅の香りが…。春の息吹を深呼吸したら、梅のおにぎりひと休み。このまちでこのまちのひとたちと、今日をともにする喜び。一緒にうれしい、京都中央信用金庫です。



山背古道(やましろこどう)

●KBS京都ラジオ「京都検定!なるほど研究所(毎週金曜午後2時より)」は京都中央信用金庫が提供しています。お楽しみください。



京都市下京区四条通烏丸西入ル
TEL.075-223-2525
www.chushin.co.jp